

駒草

2025.9.20

東北文教大学山形城北高等学校

駒草同窓会会報

輪をつなぎ 和を広げる同窓会だより

： みんなの笑顔に会いたくて

5月のある日、「うまのすけ Cafe」では園児たちが馬とのふれあいを楽しんでいた。迎える高橋千秋さんもすてきな笑顔です。「お客様が馬たちを見て笑顔になってくださる時が、一番うれしいですね。私自身も笑顔を大切に仕事をしています」

高橋さんがホースセラピーに関心をもったのは、障がい者支援施設に勤務していた頃。障がい者乗馬の活動を通して目の当たりにしたのは、それまで見たことがない光景でした。「重複障がいもち、表情に変化がなく笑顔もなかった利用者さんが、馬に乗った途端、満面の笑顔を見せたんです。寝たきりだった方は、抱っこされての乗馬に始まり、二年後には自力で座位を取り馬に乗れるようになりました。乗馬がりハビリとなり体幹が鍛えられたんです。情緒と身体両面に驚くような効果が見

山形市みはらしの丘
高橋 千秋さん（昭和53年度卒業）



高橋さんとミニチュアホースのボブ君。「新しい企画にも挑戦していきます」



ユニークな店名は、高橋さんが実行委員長を務める「やまがた馬まつり」のキャラクターから

られ、馬の不思議なパワーを感じました。そして、ホースセラピーをたくさんの方々に知ってほしいと思い、馬とのふれあいを楽しむこのカフェをオープンしたんです」

高橋さんの頼もしいパートナーは、ポニーのロイちゃん（お利口さんでしっかりもの）とミニチュアホースのボブ君（穏やかでマイペース）。「馬は、大人しく優しい動物。音に敏感で臆病な一面も。子どもを乗せますから、しっかり調教を行い、危険のないよう気を配り、安全な乗馬サポートを心がけています」。癒しの場を作るのは、容易なことではないですね。入念な準備と気遣いが垣間見えます。

オープン以来、笑顔とチャレンジを大切にする高橋さん。「たくさんの方々を支えられ、ロイちゃん、ボブ君と共に無事に三周年を迎えられました。このカフェは、馬を介して障がいのある方も健常者も笑顔で交流できる場所。蔵王連峰の眺めも楽しみながら、ゆっくりのんびり心と身体を癒していただけなら幸いです」

足もとは緑やわらか、見上げれば五月晴れ、うまのすけ Cafe は三周年。一望千里、すべて善し◎

▶ 障がい者乗馬の様子は、カフェのHPで動画視聴できます。ぜひご覧ください。

より良い事業を模索しながら



駒草同窓会会長
片桐 道子



校長（同窓会副会長）
大沼 敏美

JOHOKUの『窓』から世界を見る

令和2年より校長を拝命しております。同窓会の皆様には様々な形でご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、母校は来年、創立百周年を迎えます。大正15年に山形裁縫女学校として設立されたわけですが、世界恐慌の影響で経営が悪化し、わずか7年で閉校を余儀なくされました。しかし、当時28歳の主任教員・富澤力氏は、生徒たちの「学校を続けてほしい」という切実な声に突き動かされ、新たな学校の設立を決意しました。そして昭和8年、県の認可を得て山形女子職業学校が誕生しました。

あれから百年、校名は幾度かわりましたが、時代の変化に対応しながら現在に至ります。少子化が深刻化する中で生徒数は増加し、県内では最も生徒数の多い学校となりました。これもひとえに、在校生は勿論のこと、卒業生の皆さんのご活躍が

駒草同窓会会員の皆様のおかげで過さずしてでしょうか。

前回の会報発行から三年が経ちました。皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。今年は六月から異常なほどの猛暑や、自然災害による甚大な被害など、取り巻く環境の変化に心穏やかでないことがしばしばあります。

郷土山形の自然は厳しさや豊かさや何にも増して移ろいの美しさがあります。昨年の日本の平均気温は1.4度上昇とのこと。これは気象学的にはたいそう大きな数字です。日本が誇る四季に二季化なる言葉を耳にするようになりました。どうぞいつまでも調和を保った四季でありませう願いたいものです。

さて、駒草同窓会の近況をお伝えします。前回の令和4年度の同窓会総会において、駒草同窓会奨学金給付制度が承認されました。以降毎年、学校から推薦いただいた文武両道のお一人に三年生修了時に授与しております。また、近年は海外で活躍される競技大会の代表として活躍される在校生達があります。伊藤美優さん（スケートボードで中国・米（柴崎香凛さん（ゴルフで米国）です。遠征費用は個人負担という現実があり、応援の気持ちを込めて激励金をお渡ししております。もう一つ、卒業時に同窓会から卒業生の皆

あつてのことと御礼申し上げます。

JOHOKUの『窓』から世界を見る

社会全体が内向きになる中、本校は世界に目を向けさせる活動に取り組んでいます。日本でも学んでいる留学生を招き英語だけで活動するプログラムや、生徒会では城北祭の売り上げを本県出身者が開設した教育施設「カンボジア愛センター」に毎年寄付をしています。コロナのせいで中断していた韓国正義女子高との交流も昨年再開し、修学旅行は今年から台湾に行くことになっています。世界を舞台に活躍する生徒もおり、スケートボードの伊藤美優選手は世界大会でメダルを取る活躍ぶりです。

結びになりますが、百周年の節目に制服が一一新します。学校HPでプロモーションビデオを公開しておりますので、ぜひご覧ください。

さんにお贈りしている記念品についてです。会員の皆さんが今お持ちの品はキーホルダーでしょうか。それともそれ以前の時代で印鑑でしょうか。この記念品について母校から、卒業後も大切にしたいもの、母校を重んじるという要望がありました。理事会で協議を重ね、卒業証書ホルダーに一新いたしました。令和6年度の卒業式では証書が収められた濃紺のホルダーを手にする卒業生の姿に、同窓会の新たな1ページを感じました。裏表紙に同窓会の名が入っています。

次に同窓会総会のご案内です。十月十八日に母校を会場に開催されます。コロナ以前のようなホテルでの賑やかな親睦会はありませんが、校内見学会を計画しております。また、各地で展覧会を開催されてご活躍の色鉛筆画家いらつしやる皆海はる氏（同窓生）をお迎えします。懐かしの場所ですと時を共に楽しみましょう。

最後に、人口減少の近年ではありますが、城北高等学校は在籍数県内一位が続いており、誠に喜ばしい限りです。私たちは会のモットーである、輪をつなぎ和を広げる同窓会を念頭に、創立百周年を迎える母校を応援してまいりましょう。

駒草の校章のもとで学んだ仲間の皆さん、今後ともお力添え賜りますようお願い申し上げます。

同窓会入会式

卒業証書授与式に引き続き同窓会入会式が行われています。厳かさの中で新入会員を迎え、同窓会長から記念品が贈られます。記念品は、令和6年度から卒業証書ホルダーを贈呈しています。濃紺の地に金文字で学校名とともに駒草同窓会の名も。



卒業証書ホルダー

駒草同窓会奨学生認定式

令和4年度に同窓会の奨学金給付制度が発足しました。城北高校に在籍する3年生が対象となり、在学部の活動や特別活動の実績が特に優れた生徒1名に對し給付しています。これまで3名の生徒が認定、授与されました。



奨学生の決意表明

笑顔をありがとう 応援してるよ



あなたとわたし 相照らす



ボルダリング
3年 栗田 瑛真さん



ゴルフ
3年 柴崎 香凜さん



スケートボード
3年 伊藤 美優さん



空手
1年 我妻 士竜さん



ゴルフ
1年 木村 野々花さん



民謡
1年 佐藤 美玖さん



スノーボード
1年 高木 咲楽さん



留学生
メリッサ・デッリ・ボッジさん(左イタリア)
& 横尾 しずさん(右メキシコ)



食物部&JRC部 ぽかぽか食堂
(こども食堂)

敬愛信

駒草同窓会は城北生を応援しています

花の香ゆかし

戦時下の駒草をたずねて

会いたい、知りたいという思いを叶えるのは難しい。80年前の戦争のことは、いま、「伝え聞くもの」になります。今回、ご家族の協力といくつかの資料をもとに、一人の同窓生の戦時経験を辿りました。

富美子さんのこと

昭和19年秋、富美子^{ふみこ}さんたち2年生200余名は、川崎市に向けて出発した。太平洋戦争末期の日本は労働力不足が深刻となり、それを補うために中学生以上の学徒の多くが工場などに動員された。富美子さんもその一人だ。川崎市は重工業地帯で、城北の動員先は、東京芝浦電気株式会社の工場だった。

富美子さんは、お国の為に行かねばならない、その一念だった。「それがその当時の当たり前、だったんだらうね」、息子さんは母親の心中をそう察した。富美子さんの妹さんの回想はもう少し具体的に。どこの家庭も親兄弟のうち誰かが戦地に行っていたが、富美子さんの家の男手は体の弱い父親と幼い弟。だから、「自分が代表してお国の為になり働いてこよう」と誓ったのだという。世間へのすまなさのようない気持ちがある言わせたのだとしたら、痛ましい。昭和20年4月15日夜半から16日未明にかけての空襲（川崎大空襲）で、川崎市を含む南武線沿線の一帯は壊滅的な打撃を受けた。パイロットの顔が見えるほどの低高度、機銃掃射の波状攻撃、濡らした頭巾があつという間に乾く猛火。いくつかの資料を読むと、富美子さんたちが体験した一夜がどんなに恐ろしいものだったか、文字を追うにつれ心臓が早鐘を打つ。「亡くなつていく人をすぐ近くに見ながら、逃げたそうです。命からがら。まだ高校2年生だったんだもの」。走り、伏せ、追い立てられるよう

に逃げる様子を想像するのか、子のものとも親のものとも取れる息子さんの心情が伝わってくる。夜が明けて、人員点呼。城北の動員生徒は、全員無事だった。

4月18日朝。富美子さんは山形に帰ってきた。村の駅から家へと続く田んぼ道、恐怖と疲労とで憔悴し、とぼと歩いて行く。角を曲がった先に我家が見えると、途端にぼろぼろ、ぼろぼろと涙がこぼれてきた。人影。「母ちゃん！母ちゃん！」富美子さんは叫んでいた。

8月15日、終戦。日本は敗れた。「母は、悔しかったと言っていました」。お国の為にと気を張り詰めた日々も死を覚悟した地獄の一夜も、全てが何にもならなかった、そういうことなのだろうか。

三年後、富美子さんは農家に嫁いだ。家業に精を出し、子育てに励み、真面目に生きた。学徒動員について話すことはほとんどなかったし、話したとしても言葉少なに淡々と、だったという。そして、富美子さんが戦争について語ることは、今もこれからも決してない。

確かにあつたことが人とともに消えていく。戦後何年という節目もいつかはなくなってしまうのだろうか。「体験した人でなければ、わからないことなんだらうね」。息子さんの言葉が胸に重く響いた。

（小池智子記）

川崎市の空襲被害状況 （昭和17年～20年）

※大半は昭和20.4.15の川崎大空襲によるもの
総務省HPより

（資料により異なるが）
罹災人口 154,426人（総人口の44.4%）
死者 1,001人
罹災戸数 35,635戸
焼失 34,931戸
飛来したB29 200機余（川崎大空襲）
投下された爆弾 1,110トン（焼夷弾＋爆弾、川崎大空襲）



今野富美子さん

協力
今野富美子さんご家族

参考

『創立五十周年記念誌』
山形城北女子高等学校発行
『想い出のまにに』 富澤カネ著
『星影のこみち』 蜂屋美枝子著
『学校に戦争がやってきた』 佐藤光康著
『山形新聞』 昭和20年4月17日付
『同右』 昭和20年4月19日付
『タウンニュース 神奈川県全域・東京多摩地区地域の地域情報誌 2024年4月12日公開』 タウンニュース社

挑戦は未来へと繋がっていく

平成9年度卒業
寺崎友紀子さん



小さい頃からの夢は「保育園の先生になること」でした。その夢を叶えるために、城北高校を卒業後、山形女子短期大学（現東北文教大学）に進学しました。短大の実習で福祉施設を訪れたことがターニングポイントとなり、私は今福祉の仕事をしています。

高校時代が一番の思い出は、仲間と青春した部活動です。吹奏楽部に所属し、大会に向け挑戦し続け、大切な仲間を得ることができました。「チームで目標に向かっていく」は仕事にも通じています。福祉の仕事は多職種連携のチームケアで利用者様を支援します。

世界とつながる、その先へ

平成元年度卒業
ビZZァーリ佳代さん
(旧姓丸子)



イタリア在住歴は10年以上になり、現在は翻訳や通訳、また日伊間のビジネスサポートを行っています。文化や商習慣の違いに戸惑うこともありませんが、異なる価値観をつなぐ「架け橋」のような役割にやりがいを感じています。

歴史ある街並みと最先端のファッションやアートが共存する、刺激に満ちた都市です。美術館や書店をめぐるのが休日の楽しみです。来年は、冬季オリンピックがミラノ・コルティナであります。高校では国際コースに在籍し、語学や異文化理解に触れる中で、いつか世界と関わる仕事がしたいと思うようになりました。最近では、ラグジュアリー業界のイタリアファッションブランドの日本でのビジネス開発や、日本のデザイナーのイタリア進出支援に携わっています。

公務員になって感じたこと

令和5年度卒業
淀川 歩夢さん



私が公務員になる前は、公務員はルーティンワークのような仕事が多く、少し固いというイメージを持っていました。しかし、実際に入庁してみると、イメージ通りの部署もあれば、全く異なる印象を受ける部署もありました。私が所属しているまちづくり課では、主にイベント関係の業務を担当しています。この部署は、私が公務員になる前にイメージしていたような部署ではなく、臨機応変に対応しなければならぬ部署です。地域住民との関わりが多く、

住民の方々の声に耳を傾けることが求められます。イベントの企画や運営を通じて、住民のニーズを理解し、住みやすい町を作っていくことが私の役割だと感じています。公務員としての仕事を通じて、住民の方とのコミュニケーションをとることで、信頼関係を築くことができ、地域の活性化に繋がるということを学びました。公務員として、地域社会に貢献できることに誇りを持ち、やりがいを感じing日々を送っています。

背番号ゼロからの逆転劇

平成16年度卒業
仲 大介さん



現在、私は福岡県福津市で、城北高校時代の同級生だった妻とともに農業を営んでいます。作付面積は、水稲18ヘクタール、麦14ヘクタール、キャベツ60ヘクタール、カリフラワー20ヘクタールです。ここに引っ越して10年が経ち、ようやく「住めば都」と感じられるようになってきました。

この10年間は、まさに人生の「七転び八起き」そのものでした。辛い状況の中でも常にそばにいてくれた妻と出会うための忍耐力を身につけられたことは、城北高校での3年間があつてこそだと思っています。私は共学一学期生として特進科に在籍し、野球部にも所属していました。野球部では一度も背番号をもらえず、勉強を理由に退部しようかと悩んだことも何度もありました。だが、それでも最後まで文武両道を買いました。その経験こそが、私にとつての「七転び八起き」人生で初めての挫折から立ち上がった原点です。そのときに培った自信があるからこそ、その後どんな「七転び」があつても、必ず「八起き」へとつながってきたのだと思います。現在、日本は超高齢化により農家の大幅な減少が進み、食料生産の危機が迫っています。今後の目標は、世襲という枠にとらわれず、「農業を職業として選ぶ」若者が増えるよう、自分の経験を活かした指導やアドバイスができる存在になることです。そして経営面では、より盤石な体制を築き、効率的に収量の増加を図ることが課題です。



高橋 昌平さん

1943年生まれ。70年、大阪万博ポルトガル館で働く。のちに、バックパッカーとして中南米やヨーロッパを中心に約4年半、世界を旅する。帰国後、84年にカフェ Espresso を開き、現在に至る。

壽賀 紘子さん (左)

平成7年度卒業。茶道表千家講師。タイの高校生のホストファミリーになったことをきっかけに、本人はもちろん現地の家族や先生とも20年以上交流を続けている。その中で、資格を活かし茶道の魅力を伝えている。

天本 里実子さん (右)

平成9年度卒業。フリーランスの翻訳者。主にビジネス翻訳業務を手がける。加えて、「山寺外国語ガイド Yamaderans」の一員として英語とスペイン語のガイド、公共機関の外国人相談窓口の通訳にも携わる。

自分と異なる世界に心を開くとはどういうこと？ 外国の方々との交流からどんなことを学べるの？ ヒントは3人のトークセッションに！

—外国(語、文化)に興味を持つようになったきっかけは何ですか

高橋 1970年の大阪万博のポルトガル館で仕事をすることがきっかけです。山形で外国人に会うことはほとんどなかったのですが、毎日外国人に会ううちにそれが特別なことではなくなっていて、万博が終わったら船のチケットを買っていたんです。

壽賀&天本 船！

高橋 ええ、船です。時間があつたから航路があれば船を利用しました。私は「旅」が好きなんです。船旅や一人旅。最後に船に乗ったのはノルウェー。フィヨルドをロシアの方まで北上しました。オーロラに魅了されて滞在中は毎日見ていました。途中眠くなるんだけど(笑)、誰かに代わって見てほしいと思うくらい美しかったです。「旅行」ではできないことです。

壽賀 私は中学生の頃にホストファミリーというのを知り、高校では海外ドラマに憧れ、海外の大学に行きたいと考えていました。でも、家族に心配されたりいろいろ環境が整わなかったんです。ところが20代前半、本当に偶然にホストファミリーの話が舞い込んできました！その時我が家にやってきたタイの女子高生とは20年以上家族ぐるみの交流が続いています。現在彼女は日本と離れない仕

事をしていて、それも嬉しいですね。

天本 私は田舎で生まれ育ったのですが、地域には外国人花嫁さんがいて、そういう意味では意外と外国は身近だったかもしれません。山の中だったので、とにかく外に出たかった。国際協力の仕事をしたかったし、あとはやはり、海外の映画やドラマの影響は大きかったです。アメリカ人になりたいと本気で思いました(笑)。城北の国際コースはアメリカに行けると知り、絶対に行きたいと親を説得しました。



—今まで訪れた、関わった国で、最も印象に残る国はどこですか

高橋 一つだけは難しいですね。私はプリミティブな(原始的な、素朴な)場所が好きです。例えば中南米の国々。乗客が自ら漕ぎ、入ってくる水をかき出しながら進める丸木舟。自分の幼い頃や家族の肌感覚を思い出すような暮らしぶり。不便さやハプニングも楽しい。整った都会よりもそういう国や町がいいですね。

壽賀 私はタイ病を自認しています(笑)。タイの家族と交流する中で、自分がいかに日本や山形を知らないかを痛感しました。タイの高校生が寺院などを詳しく説明してくれる様子に驚きました。その後少しずつ勉強するにつれ、日本とタイ、アジアの文化が根底でつながっていることを理解しました。自分の無知を自覚した経験でした。単なる旅行では気づけなかったかもしれません。

高橋 私も外国で日本のことを説明できず恥ずかしかった。自分は本当にものを知らないと思いました。テストのために暗記して得た知識と経験に基づいて考え得たものとは差がありますね。

天本 私は断然グアテマラです。国際協力の仕事するうえで英語以外の語学としてスペイン語を学びたいと思いグアテマラに留学しました。以来すっかりハマっています。コーヒー生産の共同体との出

会いは本当に感激でした。例えば、お金も保険制度も満足なものではない中、彼らは自分たちで薬草を採り、効能などを調べ分類していました。問題意識が高く、恵まれているとは言えない状況を嘆かず、出来ることを探して暮らす姿に感銘を受けました。教育熱心でもありますね。

—外国の方との交流について自分なりの楽しみ方や工夫はありますか

天本 私はドキュメンタリー映画祭のボランティアをしています。監督さんは滞在日数も短いため、よりフレンドリーに声をかけるようにしています。立場や役割ではなく、一人の旅人としてサポートしたいです。前回も我が家でたこ焼きパーティーをしたんですよ。

寿賀 私にとってもドキュメンタリー映画祭は大切な機会です。初めは億劫でしたが、舞台挨拶と作品を介して監督に声をかけることができました。わからないことを恐れず、断られることにも一喜一憂しない。フラットな気持ちで先入観を持たないことが大切だなと思います。

高橋 映画でもなんでも共通の話題があれば通じ合えるんですよね。コミュニケーションは、口から出た言葉だけじゃないからね。そして、言葉だけが独立してあるわけじゃない。

寿賀 そうですね。気持ちを伝えるとき、ジェスチャーや表情が先で後から言葉がついてくることもありますよね。逆に言えば、嫌だという気持ちは言葉で言うよりも先に伝わってしまう。

天本 偏見をもたないということは、意識的にしないとできないことかもしれません。メディア等によって人はネガティブな感情を抱きやすくなります。観光ではなく生活している外国人に接するときは特に気を付けなければならないと思います。

—外国の方との交流や異文化体験から学んだこと、考え方の変化などがありますか

寿賀 一つは茶道に関することです。茶道には「見立て」という趣向があります。タイをはじめ外国のものを茶道具として取り入れることで、その国の文化の深部を知り、ものの見方が広がりました。もう一つは、戦争に関わることです。タイでホストファミリーではない方に現地を案内してもらったことがあります。何も知らずに連れ行かれた場所は、カンチャナブリー(*注)でした。ホストファミリーのおばあちゃんが帰宅した私を抱きしめ、「何があってもあなたは私の孫だよ」と言ってくれた意味も当時は分かりませんでした。後でその場所のことを知った時は本当にショックでした。同時に、辛い経験をしたうえで私を温かく迎えてくれるタイの家族の心の大きさに胸を打たれました。歴史の負の面も知らなければと強烈に印象づけられました。また、各々の立場での見方や思いがあるのだと知りました。戦争の延長線上でこうして交流していることを忘れてはいけないと考えられるようになりました。

天本 私も似た経験があります。韓国正



義女子高との交流でホームステイをした時です。ホストシスターが連れて行ってくれた場所の一つが戦争に関する博物館でした。戦争に対する彼女と私の認識の差と、私に知ってほしいという彼女の深い思いにショックを受けました。「戦争は過去、だから自分は知らない」は国際社会では通用しません。今の仕事の中でも考えることはあります。山形で子育てをする外国人のお母さんの話です。その方は子どもに対し、自分が外国人であることを理由に「後ろ指をさされないようにしなさい」と教えていると知り、その方の生きづらさを感じ辛い気持ちになりました。もっと私たちが寛容にならなければと強く思いました。海外に出れば誰もが外国人になるのですから。言葉や文化の違い人に対して思いやりを忘れたくないし、私も仕事を通して貢献できたらと思います。

寿賀 それって、敬愛信ですよ。

寿賀&天本 敬愛信は国境を超える！

—今後経験してみたい国際交流はありますか

寿賀 茶道をはじめ文化を通して交流したいです。日本のものを発信したり、外国のものを取り入れたり。そこには感性のぶつかりはあるかもしれないけど、争いにはならないと思うんです。形無しはだめだけど型破りが必要。知らないことを恐れず、選択肢を見極め、自分で見て聞いて経験していきたいです。

天本 私は今、翻訳をメインに仕事をしていますが、子どもがもう少し大きくなったら通訳もしたい。山寺で外国語ガイドもしていますが、さらに通訳の仕事を通して山形のいいものを伝えたいです。語学は日々ブラッシュアップしています。

高橋 大学生のお客さんは就活の話をよくするんだけど、私は2、3年外国に行くのをすすめているんですよ。外国に行くことがすべてじゃないけど、時間があるうちは自分の好きなことをやった方がいい。時間は借りられないから。それから、物事の結果だけを教えるのではなく、起源や周りとの関わりにも興味をもてるような教育をしてほしいですね。ものの見方は様々あると知ることは大切。外に出

ることは、外のことを知るだけではない。外に出るからこそ自分のことが見えるんだよね。

自分と異なる世界は、私たちに新しい視座を与えてくれます。加えて、時に対立を生むという現実も。でもその先、偏見や争いに向かわないためにはどうあるべきなのか、よく考えたいです。そして、考えることによって、自分の内面も多層的に開かれていくのだと、皆さんとお会いして感じました。とても充実した時間でした。感謝です！コープクン カー。グーラシアス。です!!

*注 カンチャナブリー…タイ中部。映画「戦場にかかる橋」で知られる。旧日本軍が過酷な労働環境下で英軍捕虜や現地民を使役し敷設した泰緬鉄道の一部など数々の戦争遺構がある。



お知らせ
@5093

【同窓会事務局より】

- ・同窓会は随時役員会を開いています。今年は6月10日、同窓会の事業や予算等について話し合いました。役員会でとりまとめた原案は、総会に提出されます。
 - ・会員の方のご氏名ご住所等に変更が生じた場合は、同窓会事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。
- お知らせいただいた個人情報、当同窓会の運営以外の目的では使用いたしません。



令和 7 年度 東北文教大学山形城北高等学校

総会窓同草駒

アーティスト・色鉛筆画家 音海はる氏ギャラリートーク

2025 年 10 月 18 日 (土)

会 場 城北高校多目的室

参加費 **500**円 (お茶お菓子、記念グッズ)

- 参加費は当日受付にお支払いください
- 当日は内履きをご持参ください



お申し込みはこちらから▶
〈申込期日 10月4日(土)〉

日程

13:15 ~ **受付**
13:50 校舎見学を希望される方は
13:30 まで受付を済ませてください

13:30 ~ **校舎見学** (希望される方)
13:50

14:00 **総会**
14:50 **ギャラリートーク**
15:30 **茶話会**
16:00 **終了**

こみみにかっち!

() 内は卒業年度 ※問い合わせは各店舗・会場・書店へお願いいたします。

オープンしました！



武田淳子さん (平9)

nice spot coffee

山形市大字山寺4439
ふもとや登山口店さん内

本場メルボルンで腕を磨いたバリスタ武田さんのコーヒーでほっと一息

近野康弘さん (平16)

日本料理 近野

京都市東山区弓矢町38

京都旅行の楽しみに近野さんの季節の御料理はいかがですか

本出しました！



音海はるさん（工藤陽輝さん 令1）

ライブ！



萱原恵衣さん (平8)

JAZZ ライブコンサート

10/11 (土) 横浜関内 Speaklow

『塗り絵でまなぶ』

音海はるのリアルな色鉛筆画
写真のような動物の絵を描くテクニック』
ホビージャパン

去る8月29日、やまぎん県民ホールで行われた PTA 研修会で萱原恵衣さん(平8)のJAZZ ライブコンサートが開かれました。この日は城北祭でもあり、萱原さんは全校生徒と保護者の方々を前に歌声を披露。会場はジャズの心地よい音に包まれました。萱原さんは主に都内、関東近郊でライブを展開しています。ぜひお出かけください。



編集後記

いただいた皆様、心より感謝申し上げます。緑に覆われた貨車のものが溶け合う少し不思議でほっとする空間は、高橋昌平さんの世界観なのかもしれない。味わい深いお話をたくさん聞かせていただき、ありがとうございます。

自分と異なる世界を理解するには、まず誰かが唯一無二であるともめること、そして想像力が要る。自己を保つ、互いの視座と結びつき、互いの関係性を開いて行き来できる関係性に幸福の種は育つ。そんな考えを、目に飛び込んできたガザの映像がかき乱していく。周りの人の幸せを喜び、同窓生たちの言葉が、波紋のように広がる。

城北百年の初期は、戦争に翻弄された「富美子さん」たちの世代は戦争のさなかに成長を迎えている。いろいろな人がいてどんな生き方をしているとも、おそろしく、思春期の戦時経験は人生の通奏低音であつたと思う。後に続く者はその道標ではない。よ微かな音になっていく。一方、世界に争いはない。歌にあること。好きな人と百年続く世界なんて望めるのかな。だけど、それでも。

学びの道に誘くタネへの、その一粒は誰かのために。その芽は、誰かが見つけてくれる。母校城北、祝百年。